



那須塩原市にあるもう一つの博物館

田園空間博物館だより なすの大地

第32号

2018年8月発行

◎当誌は「那須野が原西部田園空間博物館運営協議会」の広報誌です。当運営協議会は「那須野が原西部田園空間博物館」の管理、運営を行っています。

1 「那須野が原西部田園空間博物館」とは

那須野が原西部地区（西那須野地区、塩原の横林・^{にわとこ}接骨木地区）の豊かな自然や疏水・開拓にまつわる史跡などを田園空間に広がる展示物（サテライト）に見たてて、「屋根のない博物館」として地域全体をとらえ、その地域に暮らす方々が中心となって保全・活用・復元し、地域の活性化を目指すもので、県内では唯一の博物館です。総合案内所が、那須野が原博物館に併設されており、パンフレット、大型パネル等により当博物館の案内をしています。

2 サテライトについて

サテライトは地域ごとにフットパス（巡回ルート）で結ばれ、ルートを巡って、散策を楽しむことができます。数あるサテライトからいくつか紹介させていただきたいと思います。

なお、詳しい場所については各地区公民館で配布しているルートマップをご覧ください。

○^{かいたくなん いしづか}開拓苦難の石塚



石塚は、かつて土地を開拓する際に掘り出された石を畑に積み上げたもので、「石ぐら」とも呼ばれています。那須野が原は、扇状地のため各所でこの石塚が積み上げられました。

（中央地区・太夫塚）

○^{なすかいこんしゃじ むしょぼり}那須開墾社事務所堀



この堀は、那須開墾社第二農場事務所前にあった堀で、那須疏水から通水し「ドジョウ池」とも呼ばれていました。田園空間博物館では、かつてのように那須疏水が流れる堀を復元しました。

（西地区・三区町）

○^{なすそすい ひきぬまようすい りったいこうさ}那須疏水・曇沼用水の立体交差



曇沼用水が那須疏水の上を横断する立体交差で、総合的な水管理を行うために相互に水の利用調整が可能な構造になっています。当初は、相互に水を利用できない構造でしたが国営那須野原総合農地開発事業により可能になりました。（横接地区・横林）

○^{みしまかいこん きおんひ}三島開墾紀恩碑



この碑は、1880年に那須野が原開拓に着手した^{ちようこうしゃ}肇耕社の創設者^{みしま みちつね}三島通庸の業績をたたえるために、移住者や関係者により1922年に建てられたものです。

（三島地区・東三島）

3 フットパス（巡回ルート）について

各コミュニティごとにフットパス（巡回ルート）を設定しています。詳しくはサテライト地域マップまたはサテライトガイドブックをご覧ください。それぞれ下記の公民館で配布しております。なお、マップは地域別に7種類あり、各公民館でそれぞれ管内のマップを配布しています。

配布場所

西公民館、狩野公民館、三島公民館、西那須野公民館、大山公民館、南公民館、運営協議会事務局

※横林・接骨木地区のマップは西那須野支所産業観光建設課（運営協議会事務局）にて配布

サテライト地域マップ



(例) 中央地区

サテライトガイドブック



4 那須野が原西部田園空間博物館運営協議会について

西那須野地区の6つのコミュニティ（西、狩野、三島、中央、大山、南）と塩原の横林・接骨木地区（横接コミュニティ）と関係団体を主なメンバーとし、那須野が原西部田園空間博物館の管理・運営や様々な普及活動を行っています。

《平成30年度 活動計画》

- | | | | |
|------------|--|--------------------------------------|---------|
| 5月24日 | 総会開催 | ※①～③については 下記の参加者募集の 記事をご覧ください。 | 写真展の様子 |
| 4月～5月 | サテライト写真展 (那須野が原公園サンスタワー) | | |
| 6月～9月 | サテライト清掃活動 | | |
| 7月28日 | ふれあいまつり会場にてPR活動 | | |
| 8月8日～15日 | サテライト写真展 (那須野が原公園展示ホール) | | 産業文化祭会場 |
| 8月20日 | 広報誌「なすの大地」第32号発行 | | |
| 9月1日～9月7日 | サテライト写真展（県庁展望ロビー） | | |
| 9月29日 | サテライト見学会 ② | | |
| 10月13日～14日 | 小学生サテライト絵画展およびPR活動（西那須野産業文化祭会場） ① | | |
| 11月10日～11日 | なすしおばらまなび博覧会会場にて小学生サテライト絵画展およびPR活動 (宇都宮共和大学那須キャンパス) ① | | |
| 11月18日 | 第15回那須野が原ウォーク（共催） ③ | | |
| H31年1月11日 | 小学生サテライト絵画展 (那須野が原博物館エントランスホール) ① | | |
| ～22日 | 小学生サテライト絵画展（那須野が原公園展示ホール） ① | | |
| 1月23日～29日 | 小学生サテライト絵画展（那須野が原公園展示ホール） ① | | |
| 3月20日 | 広報誌「なすの大地」第33号発行 | | |



なすしおばらまなび博覧会会場

◎参加者募集

①第9回小学生サテライト絵画展（平成30年10月～平成31年1月開催）

今年も博物館の対象地域内（西那須野地区、塩原の横林・接骨木地区）の小学校の5～6年生を対象にサテライトの絵画を募集いたします。

ご応募いただいた作品は、上記の日程で各会場に展示予定です。

（スペースの都合上、会場によっては一部作品のみの展示になります。）

ぜひこの絵画展をきっかけに、一人でも多くの方にサテライトを訪れていただき、田園空間博物館に興味をお持ちいただければ幸いです。

②サテライト見学会【9月29日（土）開催】

市内の主なサテライトや田園空間博物館にゆかりのある施設をバスにて巡回し、見学します。
下記のとおり、参加者を募集いたしますので、参加ご希望の方は田園空間博物館運営協議会事務局（西那須野支所産業観光建設課 電話：0287-37-5108）までお申し込みください。
なお、バスの座席には限りがありますので、定員になり次第募集を締め切らせていただきます。

《募集要項》

開催日時：9月29日（土） 午前9時出発～午後4時解散予定

見学箇所：市内各サテライト及び関連施設（写真は平成29年度実施のものです。）

移動手段：各サテライト間はバスで移動します。徒歩による移動もあります。

対象：小学生以上の市民 募集人数：若干名 参加費：無料

集合場所：西那須野支所あだご駐車場

参加申し込み期限：9月12日（水） ※市の広報にて、同様の募集を行っております。



那須開墾社第二農場跡



乃木清水



庁舎時計塔からの風景

③第15回那須野が原ウォーク【11月18日（日）開催】

那須野が原公園を中心に松方別邸、那須疏水探訪の小径、赤田調整池、サンサタワーなど周辺のサテライトを徒歩で巡る催しで、那須野が原公園、那須野ヶ原土地改良区連合、ホウライ株式会社、東京電力ホールディングス株式会社との共催になり、毎年多くの方にご参加いただいております。

きれいな紅葉が見られる箇所や那須疏水沿いを歩くコースになっています。

9月に市の広報等で参加者を募集する予定ですので、興味のある方はぜひご参加ください。

詳細は裏面の事務局までお問い合わせください。

参考：平成29年度実施の写真



松方別邸



千本松牧場内



那須疏水探訪の小径

「那須疏水」（世界かんがい施設遺産）以前の 那須野が原西部地区の湧水と小川あれこれ

シリーズ 1 大山コミュニティ地区

那須野が原地域は明治期の画期的な疏水建設によって豊かな農耕や牧畜地として発展することができ、世界かんがい施設遺産(2017年10月登録)として疏水の価値が再認識されました。飲料や農耕に必須な用水は那須野が原扇状地の大半で欠乏していたにも関わらず、地形的な特性から南西部の扇端部では昔から地下水が湧出する箇所があり生活や農耕に利水していたことがうかがわれます。今回は、大山地区の疏水以前からの特徴的な湧水と小川を紹介します。

【乃木清水】

乃木神社境内にある乃木清水。名称からして乃木希典将軍を抜きにしてこの清水を語ることはできない。それ以前の乃木清水の文献はないが下流の農地を潤していたようだ。

現在の乃木神社渡宮司によれば、乃木将軍が若い頃にこの地の親戚に遊びに来た時に素晴らしい清水があったのを大変気に入ったそうである。その後、これを親戚から譲り受け、その姿が「農人乃木」と言われるほど農業に勤しんだらしい。境内には江戸時代からの墓沼用水が清らかに流れており、明治の改修工事時の地域全世帯負担額の半分を乃木将軍が負担し、現在の静沼に引き入れ稲作をしていたようだ。

また、明治天皇に拝謁した時に「農場に何か自慢があるか」と尋ねられ「清水のすばらしいものがございます」と答えられたそうだ。度重なる戦や転戦を余儀なくされた乃木将軍は水のありがたさを忘れず、こんこんと湧き出る沢山の清水をもったいないと言い、コップ一杯の水で顔を洗い歯を磨いたと言われている。

湧水地に自生する淡水産紅藻類新品種のノギカワモズクは、市指定の天然記念物である。



【頭無湧水地】

西那須野町文化財調査報告第2集によれば、那須野が原西部地区の南西部と加治屋（大田原市）の境界付近には頭無（かしらなし）という湧水地が数か所あった。中には出釜もあり、こんこんと流れていたため、明治10年代の開拓者が水を汲んだ所と西那須野町史双書1に記述されている。現在は、埋め立てずに残っている窪地には、はっきりした出釜らしきものは存在しないが全体的に湧き出ているようにも見える。流れは緩やかで農耕に使用するまでの水量は出ていない。藪で水面が見えず、那須塩原市地内にあるものの水利権は下流の加治屋地区の世帯にある。出釜がないので「頭無」と文献にあるが、面白いことに、現地に言い伝えられていることには、周辺の多くの家の跡取り（頭）が生まれないので「頭無」と言うらしい。尋ねた住民の方も「私の家も婿取りなんだ」と言っていたのが印象深い。（文責：田園空間博物館 企画広報部会）



那須野が原西部田園空間博物館運営協議会

◇発行・問合せ先◇

TEL 0287-37-5108（事務局：那須塩原市西那須野支所産業観光建設課内）

◇HPアドレス◇

<http://www2.city.nasushiobara.lg.jp/denkuu/>

サテライトの紹介、当協議会のイベントなどはホームページでもご覧になれます。

※当誌は那須塩原市の公民館で配布しておりますので、希望される方は各公民館までお問い合わせください。